

新理事長に中川喜博氏 就任

公益財団法人近畿警察官友の会は、「第42回理事会」を3月12日大阪市中央区のKKRホテル大阪で開催し、「令和6年度事業計画・同予算について」と、「代表理事・副理事長の選定について」審議し、全会一致で承認した。今理事会で承認された人事は次のとおり。

〔括弧内は前役職〕

理事長

中川喜博氏（副理事長）

株式会社阪急阪神ホテルズ

代表取締役会長

副理事長・大阪府支部長

延原健二氏（理事・大阪府支部長）

延原倉庫株式会社 代表取締役社長

理事（6月19日付で相談役に就任予定）

小嶋淳司氏（理事長）

がんこフードサービス株式会社 社長



公益財団法人
近畿警察官友の会

●本号の目次●

○新理事長に中川喜博氏が就任	1
○理事長退任・就任ご挨拶	1・2頁
○令和6年度事業計画・同予算	3頁
○本部事業報告	4頁
○支部事業報告	5・6頁
○今後の予定他	6頁



【小嶋淳司氏】

〔理事長退任ご挨拶〕

小嶋 淳司

平成20年6月に下谷昌久氏の後任として、「財団法人近畿警察官友の会会長」に就任以来至らぬ点多かったとは思いますが、皆様の支えによつてここまで会長・理事長を務めることができました。会員の皆様、関係各位のご指導、ご協力に改めて深く感謝申し上げます。

私事ですが、今年の7月に数え年で卒寿を迎えることとなり、任期途中ではありますが、理事長職を辞任させていただくことにいたしました。

会長就任の平成20年には、公益法人制度

昨今は凶悪な犯罪が相次ぎ、悲惨なテロも他人事ではなくなりました。私たち市民は、「安全で安心して暮らせる社会」を望んでいます。公益財団法人近畿警察官友の会はそうした社会の実現のため、日夜業務に従事している近畿各地の警察官を支援しています。

改革3法が施行され、当会も一般財団となるか、さまざまな条件はあるが公益目的事業を行う法人として認可を受けるかの決断を迫られる時期でした。理事会一致で、公益認定を受けるべく決断し、当時の事務局による通常の事業と並行して認定に向けてのさまざまな手続きと認定委員会との交渉を行い、無事認可が下り安堵したことが記憶に残っております。

また平成23年の東日本大震災、そしてここ数年のコロナ禍と、我が国全体に及ぶ厄災に見舞われ、平穏な毎日のありがたさを感じることも多くなりました。

そのような中、夏季教養講座にて熱心にメモをとりながら聴講する警察幹部の姿や、表彰式での受賞者とそのご家族の喜びの笑顔、そして伝わってくる警察官としての覚悟が、頼もしさとともに、友の会の活動への励みとなりました。



【中川喜博氏】

中川喜博 新理事長 略歴
 昭和28年生まれ
 昭和51年 阪急電鉄(株) 入社
 平成19年 同社 常務取締役
 平成25年 同社 代表取締役専務
 平成26年 同社 代表取締役社長
 平成29年(株) 阪急阪神ホテルズ 代表取締役会長

後任の中川喜博氏は、関西を代表する会社の社長も務められた、立派な見識と素晴らしい人柄を備えられた方であります。当会を含め、警察官友の会を取り巻く状況は厳しいものがありますが、当会設立の「一人でも多くの国民が警察官の友となつて、警察に対する理解と信頼を深め相協力して社会の安定と発展のため努めたい」という願いを繋いでいっていただけると確信しております。どうぞ倍旧のご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、皆様のご健勝と友の会の発展を祈念して私の退任の挨拶とさせていただきます。

「理事長就任ご挨拶」

中川 喜博

この度、小嶋淳司氏の後任として理事会のご推挙により、公益財団法人近畿警察官友の会理事長に就任いたしました。大変光栄に存じますとともに、責務の重さに身の引き締まる思いでございます。

60年日米安全保障条約改定反対運動に
 対応した、多数の警察官が重軽傷を負われたことを契機として「一人でも多くの国民が警察官の友となろう」という声により設立された当会も昭和の高度成長期、バブル経済のピークとその終焉、2度の大震災に見舞われた平成、そして令和の時代と六十余年の歳月を重ねてまいりました。その間さまざまな事件事故や災害に見舞われたものの、我が国は世界で有数の治安が安定した、安全な国として高く評価される国となり、その恩恵を私たちは享受してまいりました。近畿警察官友の会も、諸先輩の努力により近畿2府4県の警察官への表彰や、教養講座の開催、助成品の贈呈、さらに地区友の会設立支援などを通じて警察活動の充実と治安の安定に貢献してきたと考えております。

私は長らく鉄道、エンタテインメント、ホテル事業に携わってまいりました。

いずれも、安全で安心が最優先される事業です。警察官の方々のご協力も随所でいただいております。この恵まれた国を今後も守るため、我々自身も努力し、警察官をはじめ暮らしを守る支えとなっている方々を応援することで社会に貢献することが使命だと考えております。

一方、時代の変遷とともに、犯罪や事件、事故の内容は大きく変貌し、多様化してきました。ここ数年は特殊詐欺など顔の見えない犯罪が顕著になり、またDVなど警察官が対応しなければならぬ事案もより多岐にわたっております。しかし昨年も殉職者が出るなど警察官の任務は依然危険と隣り合わせであり、また安全な暮らしの実現に警察官の果たす役割は大きいです。現在、警察官友の会を取り巻く状況は、なかなか厳しいものがありますが、少しでも多くの市民からの警察官への応援の声が、当会の活動を通じて現場の警察官に届き、彼らが自信と誇りをもってそれぞれの任務に向かうエールとなるよう、努めてまいりたいと存じます。

当会の歴史と伝統を守りつつ、今の時代に求められる活動を進めてまいりますので、どうぞ会員の皆様には、従来にも増してご協力賜りますよう、心からお願い申し上げます。

令和6年度 事業計画及び収支予算について

☆令和6年度の事業計画概要

- 1 表彰事業
 - (1) 近畿優良警察職員に感謝の会
10月9日 KKRホテル大阪にて開催。
 - (2) 各府県支部表彰
 - (3) 外部表彰
近畿管区内優秀警察職員表彰式
(近畿管区警察局主催)
「近畿の警察官」表彰のつどい
(産経新聞社提唱)
- 2 講座事業
 - (1) 夏季教養講座
8月23日 ホテルプリムローズ大阪にて
同志社大学法学部 教授 村田晃嗣氏、
福知山公立大学 副学長 西田豊明氏を
講師に招いて開催。
- 3 助成事業
 - (1) 警察活動に必要な資材・機材の提供
 - (2) 警察行事支援
- 4 普及啓発活動
 - (1) 会報の発行
 - (2) ホームページで本部・支部・地区友の会の活動報告
 - (3) 協力団体(地区友の会)の設立を後援

☆令和6年度収支予算について(令和6年4月1日～令和7年3月31日 単位円)

科 目	令和6年度	令和5年度補正予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	300	530	△ 230
② 特定資産運用益	0	0	0
③ 受取会費	29,205,000	29,500,000	△ 295,000
④ 受取寄付金	2,100,000	2,100,000	0
⑤ 雑収益	100,000	75,000	25,000
経常収益計	31,405,300	31,675,530	△ 270,230
(2) 経常費用			
① 事業費	24,774,147	24,152,688	621,459
② 管理費	9,487,697	9,290,140	197,557
経常費用計	34,261,845	33,442,828	819,017
当期経常増減額	△ 2,856,545	△ 1,767,298	△ 1,089,247
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,856,545	△ 1,767,298	△ 1,089,247
一般正味財産期首残高	46,948,495	48,715,793	△ 1,767,298
一般正味財産期末残高	44,091,950	46,948,495	△ 2,856,545
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
III 正味財産期末残高	44,091,950	46,948,495	△ 2,856,545

令和5年度本部事業報告

近畿優良警察職員に感謝の会

【近畿優良警察職員に感謝の会】



令和5年10月18日、KRホテル大阪にて、近畿管区警察局後援、12社賛助のもと「令和5年度近畿優良警察職員に感謝の会」を開催し、25名の受賞者は家族とともに出席した。大阪府公安委員会・梅宮典子委員長、近畿管区警察局・奥野省吾局長ほか10名を来賓として招き、当会からは理事長ほか17名の役員が出席した。

当会小嶋淳司理事長が式辞を述べた後、管区局及び

【謝辞を受ける小嶋理事長】



各府県の受賞者とその家族に楯と記念品を贈った。引き続き、読売テレビ放送株式会社・大橋善光社長から記念の置時計が贈られた。

来賓の大阪府公安委員会・梅宮典子委員長、近畿管区警察局・奥野省吾局長、大阪府警察本部・津田隆好副本部長（本部長代理）から祝辞が述べられ、最後に受賞者代表が「本日の受賞を胸に刻み、安心して暮らせる社会の実現に向けて、一層の努力と精進を重ねていきます」と謝辞を述べ、受賞者を囲んで記念撮影を行った。

夏季教養講座

令和5年8月25日、ホテルプリムローズ大阪にて「令和5年度夏季教養講座」を近畿管区警察局と共催した。開講式にて奥野省吾近畿管区警察局長の挨拶の後、関西学院大学特別客員教授の小西美穂氏が「メディアとジェンダー」、第5代統合幕僚長の河野克俊氏が「今後の日本の安全保障とリーダーシップ」と題した講演を行い、近畿管区内の警察幹部83名と当会関係者5名が熱心に聴講した。

外部表彰事業

☆「令和5年度近畿管区内優秀警察職員表彰式」

近畿管区警察局主催で令和5年11月13日、ホテルプリムローズ大阪にて開催され、当会から小嶋理事長が出席、18名の警察職員に記念品を贈呈し祝辞を述べた。

☆第137回「近畿の警察官」表彰のつどい

産経新聞社提唱で令和5年11月30日、大阪国際交流センターにて開催され、当会から日下専務理事が出席、6名の警察官に記念品を贈呈した。

本部助成事業

近畿管区警察局主催の柔道・剣道大会が令和5年7月5日に、逮捕術・拳銃射撃競技大会が11月1日に開催され、優勝者に当会寄贈のクリスタルメダルと楯を寄贈した。

【夏季教養講座】



令和5年度各府県支部事業報告

【表彰式の様子】



滋賀県支部

☆表彰式

令和5年9月6日、びわ湖大津プリンスホテルにて「令和5年度滋賀県優良警察官表彰式」を中村滋賀県警察本部長ほか警察官幹部を来賓に迎え開催した。土沢健一支部長が式辞を述べた後、優良警察官5名（家族同伴）に感謝の楯と記念品を贈呈した。

☆助成品目録贈呈

令和6年3月7日、滋賀県警察本部にて、寄贈した伸縮警杖などの目録を、土沢支部長より中村警察本部長に贈呈した。

大阪府支部

☆表彰式

令和6年2月1日、ホテルプリムローズ大阪にて「令和5年度大阪府警察優良警察官・民間警察協力功労者表彰式」を向山大阪府警察本部長ほか警察官幹部を来賓に迎え開催した。延原健二支部長が式辞を述べた後、優良警察官22名（家族同伴）と民間警察協力功労者2名に感謝の楯と記念品を贈呈した。

☆助成品目録贈呈

令和5年12月4日、大阪府警察本部にて、デジタルカメラほか寄贈品22品目、216点の目録を、延原支部長より警察本部多久総務課長に贈呈した。

【式辞を述べる延原支部長】



兵庫県支部

☆表彰式

令和5年8月30日、ラッセホールにて「第45回兵庫県優良警察官・民間警察協力功労者表彰式」を澤田兵庫県公安委員長、遠藤兵庫県防災監（知事代理）、村井兵庫県警察本部長ほか警察官幹部を来賓に迎え開催した。桑田純一郎支部長が式辞を述べた後、優良警察官10名、民間警察協力功労者2名（いずれも家族同伴）に感謝の楯と記念品を贈呈した。

☆助成品目録贈呈

令和6年2月9日、兵庫県警察本部にて、寄贈した監視カメラなどの目録を、桑田支部長より警察本部浪花総務部長に贈呈した。

【謝辞を受ける桑田支部長】



【目録を贈呈する森本支部長】



奈良県支部

☆表彰式

令和5年11月10日、ホテルリガール春日野にて「第46回奈良県警察優良警察官表彰式」を村井奈良県副知事（知事代理）、島本奈良県公安委員長、安枝奈良県警察本部長ほか公安委員・警察官幹部を来賓に迎え開催した。森本俊一支部長が式辞を述べた後、優良警察官12名（家族同伴）に感謝の楯と記念品を贈呈した。

☆助成事業

奈良県警察本部を通じて各部署に飲料や食品などの激励品及びスキヤナーなどの物品を寄贈した。（一部予定）

【式辞を述べる成川支部長】



和歌山県支部

☆表彰式

令和5年10月31日、ホテルバローム紀の国にて「令和5年度和歌山県優良警察官表彰式」を山崎和歌山県警察本部長ほか警察官幹部を来賓に迎え開催した。成川守彦支部長が式辞を述べた後、優良警察官18名に感謝の楯と記念品を贈呈した。

☆助成物品目録贈呈

令和6年1月31日、和歌山県警察本部にて、寄贈した冷蔵庫などの目録を、成川支部長より山崎本部長に贈呈した。

訃報

当会の相談役で第5代会長を務められました津田和明氏が令和5年12月2日、89歳で永眠されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

あとがき

直近の理事会にて、小嶋理事長が16年務められた理事長職をご勇退されました。5年近く事務局長としてその聲に接してまいりましたが、当会にかける思いの強さについても後押ししていただきました。理事長は退かれましたが、まだまだその熱意は尽きることはない様子です。これからも大所高所からご指導いただけると心強く思っております。小嶋様、ひとまずは長い間お疲れさまでございました。そしてこれからもよろしくお願ひいたします。

日下

当面の予定

開催日	行事名
6月 3日 (月)	理事会 (決算)
6月 19日 (水)	評議員会
8月 23日 (金)	夏季教養講座
10月 9日 (水)	近畿優良警察職員に感謝の会

当財団のHPもぜひご覧ください。

<https://www.kk-tomo.com/>

発行所 公益財団法人近畿警察官友の会
 〒540-0011
 大阪市中央区谷町三丁目一番九号
 MG大手前ビル二階
 電話 〇六一六九四一七六三八
 FAX 〇六一六九四一七六四一
 編集兼発行人 日下 勝之
 印刷所 株新聞印刷